

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 6 回会計学教育 FD/IT 活用研究委員会議事概要

- I. 日時 : 平成 22 年 2 月 16 日 (火) 午前 10 時から午後 13 時 30 分
- II. 会場 : 私立大学情報教育協会 会議室
- III. 出席者 : 岸田委員長 (司会)、椎名副委員長、河崎、福浦、金川、阿部各委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 検討事項

1. 会計学における情報教育について

委員長からこれまでの議論の経緯について説明があり、引き続き委員から会計分野の情報教育における例として、Excel や XBRL を活用したケースについて発表があった。また副委員長からは、過去の学士力や委員会で行ってきた情報教育の成果をベースにした会計学における情報教育案について提案がなされた。

続いて事務局から、本検討課題は会計分野における情報教育といった場合、どのように情報技術が活用できるか、ということに焦点を当て、過去の検討課題とは切り離して考えてほしいとの要請があった。

その後、継続的に議論をおこない、会計で重要なことは、データを収集してそれを活用できることであり、その過程で情報倫理や情報の信頼性が判断できるような要素を取り入れながら、情報の収集と活用という点を重要視した到達目標を設定していくことが確認された。結果、他の委員会の例も参考にしながら既存の到達目標や到達度、教育内容・教育方法、到達度の測定手段すべてにおいて大幅な修正がおこなわれ、3つの到達目標は次のように設定された。

到達目標 1 : 情報通信技術を用いて適切な会計情報の収集・整理ができる

到達目標 2 : コンピュータを活用して会計情報を作成できる

到達目標 3 : 情報通信技術を活用して会計情報の分析・表現ができる

2. 今後の予定

前回の日本会計研究学会での発表のインパクトが強かったことを受け、本年の学会でも自由論題に応募することが委員長より提唱され、検討することとなった。

3. 次回の委員会

平成 22 年 6 月頃 (予定)

以上